

2017年(平成29年)2月8日

スポーツを通じて世界に翔ばたく逞しい人材を育成するスポーツチャレンジ助成事業
YMFS スポーツチャレンジ(体験/研究)助成
平成29年度(第11期生) 計28件・総額2,598万円の助成を決定

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(Yamaha Motor Foundation for Sports 略称: YMFS)では、平成29年度(第11期生)「YMFSスポーツチャレンジ体験助成」、「YMFSスポーツチャレンジ研究助成」の助成対象者28件を決定しました。

平成29年度の助成金額は、「スポーツチャレンジ体験助成」が13件・1,203万5,000円、「スポーツチャレンジ研究助成」が15件・1,394万5,900円、合計28件・2,598万900円です。なお、3月3日(金)に東京・大手町ファーストスクエアカンファレンスで「平成29年度(第11期生)助成金贈呈式」を開催します。

平成29年度(第11期生)スポーツチャレンジ助成 助成概要

助成プログラム	申請件(人)数	採択件(人)数	助成金額(計)
スポーツチャレンジ体験助成	55件	13件	1,203万5,000円
スポーツチャレンジ研究助成	42件	15件	1,394万5,900円
計	97件	28件	2,598万900円

「スポーツチャレンジ体験助成」「スポーツチャレンジ研究助成」概要

「スポーツチャレンジ助成」は、スポーツを通じて世界に翔ばたく逞しい人材を育成することを目的とした助成金交付制度です。チャレンジャー(助成対象者)に高く明確な目標設定を促し、その活動に対する報告書の提出や報告会への参加等、PDCAサイクルを基調とした独自のサポートプログラムを通じて成長を支援します。

「スポーツチャレンジ助成」には、アスリート、指導者、審判など、各種体験活動に対して助成金を交付する「体験助成」と、スポーツにかかわる学問、研究活動に対して助成金を交付する「研究助成」の2部門があります。また「体験助成」は3つのカテゴリー(国際レベルでの実績を有する選手等を対象とした[アドバンスド:上限150万円]、国際レベルでの活躍を目指す[ベーシック:上限100万円]、ジュニア世代の国際大会で実績を有する[ジュニア:上限50万円])、「研究助成」は2つのカテゴリー(研究職として活動に従事する研究者を対象とした[基本:上限120万円]、大学院博士課程に在学中もしくは学位未習得の若手を対象とした[奨励:上限60万円])があります。なお平成29年度(第11期生)の活動期間は、平成29年4月から平成30年3月です。

■ この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください ■

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS) 事務局: 担当・山本

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500番地 Tel: 0538-32-9827 Fax: 0538-32-1112 <http://www.ymfs.jp>

平成 29 年度(第 11 期生)スポーツチャレンジ体験助成 対象者一覧 (平成 29 年 2 月 1 日現在)

区分	氏名(年齢)	種目	チャレンジテーマ	所属
ジュニア	きひら りか 紀平 梨花 (14)	フィギュアスケート/選手	2022 年北京オリンピック出場を念頭に、JGPF、全日本ジュニアにて優勝を目指す	関西大学カイザーズフィギュアスケートクラブ
	ふるはた かいき 古畑 海生 (17)	水泳/選手	未来へ扉は開いた！さらなる成長を遂げ大好きな水泳を継続、活躍できる第 2 ステージを獲得する	市川高等学校
	むらかみ 村上 レイ (13)	アイスホッケー/選手	北米ジュニアアイスホッケーリーグで活躍できる選手になるための挑戦	苫小牧市立和光中学校
ベーシック	かみはし けいしん 神箸 溪心 (16)	スノーカー(ビリヤード)/選手	スノーカー世界チャンピオンへの挑戦 ～強豪選手がひしめく中国で、技術・メンタルの質を向上させる～	世界スノーカー学院(中国)
	たかい かずひろ 高居 千紘 (19)	陸上・走り高跳び(障害者スポーツ)/選手	陸上競技・走り高跳びで日本ろう記録を塗り替え、2021 年デフリンピックでメダル獲得を目指す挑戦	日本体育大学
	ほんどう あんみ 本堂 杏実 (20)	スキー・アルペン(障害者スポーツ)/選手	2018 年平昌冬季パラリンピック アルペンスキー競技入賞から 2022 年北京大会金メダル獲得への挑戦	日本体育大学
	みしま れん 三島 廉 (19)	カヌースラローム/選手	カヌースラローム K1 で五輪初のメダルを獲得するために、2017 年 U23 世界選手権で表彰台を目指す	日本体育大学
	わかつき あらた 若月 新 (16)	スキー・アルペン/選手	アルペンスキー世界ジュニア選手権に出場して活躍する！	北照高等学校
アドバンスド	いしもと みらい 石本 美来 (19)	ボウリング/選手	自己スキルをより磨き、自分のボウリングで世界に名を轟かせたい	岡山商科大学
	かじはら ゆうみ 梶原 悠未 (19)	自転車競技/選手	2020 年東京オリンピック金メダル獲得に向けた戦略 ～自転車競技を日本でメジャースポーツへ～	筑波大学
	くどう かい 工藤 開 (23)	空手/選手	東京五輪に空手道が正式種目に決定、日本代表として出場し優勝する	近畿大学大学院
	つじ さえ 辻 沙絵 (22)	陸上・中距離(障害者スポーツ)/選手	陸上競技 400mにおいて、東京パラリンピックで金メダル獲得を目指す ～リオでの経験を生かして～	日本体育大学
	みうら ゆうき 三浦 優希 (20)	アイスホッケー/選手	日本人史上初の NHL プレイヤーとなり、アイスホッケー日本代表を長野大会以来の五輪出場へ導く選手となる	Waterloo Black Hawks

申請件(人)数		55 件 (ジュニア 5 件、ベーシック 31 件、アドバンスド 19 件)
採択件(人)数		13 件 (男性 6 件・女性 7 件)
年代	10 代	9 件 (69.2%)
	20 代	4 件 (30.8%)
平均年齢		18.2 歳

平成 29 年度(第 11 期生)スポーツチャレンジ研究助成 対象者一覧 (平成 29 年 2 月 1 日現在)

区分	氏名	分野	チャレンジテーマ	所属
奨励	えたに たかひで 恵谷 隆英 (28)	自然科学	音の空間イメージがリズム的な全身運動に与える影響	東京大学大学院 総合文化研究科
	ひらの ともや 平野 智也 (28)		片側前腕切断スプリンターのスプリント走におけるスタート局面のパフォーマンスと動作に義手が与える効果	日本体育大学大学院
	やぎ まさひで 八木 優英 (29)		超音波診断装置を使用した股関節不安定性の評価法の確立	京都大学大学院 医学研究科人間健康科学系 専攻 リハビリテーション科学コース
	わしの そうへい 鷺野 壮平 (25)		呼吸筋トレーニングによるトップスイマーの記録向上への挑戦	鹿屋体育大学大学院 体育学研究科
	おがわ しよた 尾川 翔大 (25)	人文社会	戦間期の日本におけるスポーツ政策に関する歴史的的研究	日本体育大学大学院 体育科学研究科
基本	あまの たつろう 天野 達郎 (31)	自然科学	運動による汗腺機能の適応機序の解明: カルシトニン遺伝子関連ペプチドの役割	新潟大学 教育学部 健康スポーツ科学講座
	いわやま かいと 岩山 海渡 (34)		持久的運動時のグリコーゲン節約を狙った高脂肪食摂取の検討	国立スポーツ科学センター
	おおつか みつお 大塚 光雄 (33)		縦断的研究: 400mハードル走において大幅自己記録更新時のレースペースを推定することができるか	立命館大学 スポーツ健康科学部
	さとう だいすけ 佐藤 大輔 (36)		「泳げる」ヒトの脳内表象をもとに実践的な評価法を開発する	新潟医療福祉大学 健康科学部 健康スポーツ学科
	さとう ゆうすけ 佐藤 佑介 (36)		体操競技あん馬における両足旋回遂行中の眼球と頭部の協応運動	日本大学 商学部
	しばぐち つばさ 芝口 翼 (32)		米由来機能性成分による骨格筋ミトコンドリア生合成・機能の充進とその標的分子の解明	金沢大学 先端科学・イノベーション推進機構 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー
	たなか よしのり 田中 嘉法 (28)		筋繊維内の乳酸を可視化するイメージング技法の確立	電機通信大学大学院 情報理工学研究科
	みやもと なおと 宮本 直人 (39)		高精度 GPS を用いたスキー計測に関する研究	東北大学 未来科学技術共同研究センター
	わかばやし ひとし 若林 斉 (38)		現代の子どもの生活運動習慣が体温概リズムおよび体力・体格に及ぼす影響の縦断的調査	北海道大学大学院 工学研究院
	みえの ゆうたろう 三重野 雄太郎 (32)	人文社会	ドーピングをめぐる法的・倫理的問題点に関する研究 — ドイツ・オーストリア・スイスの状況を参考に—	鳥羽商船高等専門学校 一般教育課

申請件 (人) 数		42 件 (奨励 17 件、基本 25 件)
採択件 (人) 数		15 件 (男性 15 件・女性 0 件)
年代	20 代	6 件 (40.0%)
	30 代	9 件 (60.0%)
平均年齢		31.6 歳
属性		准教授 6 件(40.0%) 助教・助手・講師・他 3 件(20.0%) 大学院生 5 件(33.3%) 団体研究員 1 件(6.7%)